

改訂日 : 2024/11/01

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 :

製品名称 : パッチグーすべり止め骨材

製品番号 (SDS NO) : 2801(04)

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 舗装用材料

使用上の制限 : 推奨用途以外への使用は禁止する

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : 東亜道路工業株式会社

住所 : 東京都港区六本木7-3-7

担当部署 : 製品事業本部

電話番号 : 03-3405-5011

FAX : 03-3405-1818

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 1

呼吸器感作性: 区分 1

皮膚感作性: 区分 1

発がん性: 区分 1A

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 1(呼吸器系)、区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1(呼吸器系、腎臓、免疫系)、区分 2(肺)

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

皮膚刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

重篤な眼の損傷

吸入するとアレルギー、ぜんそく又は呼吸困難を起こすおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

発がんのおそれ

臓器(呼吸器系)の障害

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(呼吸器系、腎臓、免疫系)の障害

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(肺)の障害のおそれ

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入をしないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
 取扱後は製造業者、供給者又は所管官庁が指定する取扱い後に洗浄する体の部分をよく洗うこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。

応急措置

直ちに医師に連絡すること。
 気分が悪いときは医師に連絡すること。
 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
 特別な処置が必要である。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
 皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
 呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

施錠して保管すること。
 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

廃棄

内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：
 混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化管法	PRTR No.
二酸化ケイ素	50 - 55	7631-86-9	1-548	—
酸化カルシウム	15 - 20	1305-78-8	1-189	—
三酸化二鉄(Ⅲ)	10 - 15	1309-37-1	1-357, 5-5188	—
酸化アルミニウム	5 - 10	1344-28-1	1-23	—
酸化クロム(Ⅲ)	1 - 5	1308-38-9	1-284	87
酸化マンガン	1 - 5	1344-43-0	1-475	412

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。
 重量%の通知により当社の利益を不当に害するおそれのあるものは、成分表にて含有量を幅表示にしています。

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

蒸気、ガス、粉塵等を大量に吸込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、温かく安静にする。呼吸が止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の診断を受けること。
 当該SDSや容器のラベルを、医師に示して診療を受ける。

皮膚に付着した場合

付着物を布にて素早く拭き取る。
 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。

外観に変化がみられたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

眼に入った場合

直ちに大量の清浄な流水で15分間以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
出来るだけ早く医師の診断を受けること。

外観に変化がみられたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

吸入した場合

誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないようにする。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

水〔○〕 炭酸ガス〔○〕 泡〔○〕 粉末〔○〕 乾燥砂〔○〕

使ってはならない消火剤 : 棒状放水

火災時の特有の危険有害性

消火水は汚染を引き起こすおそれがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。
可燃性の物を周囲から、素早く取り除くこと。
指定の消火器を使用すること。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を使用する。

環境に対する注意事項

河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出物は、密閉出来る容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処置すること。

二次災害の防止策

すべての着火源を速やかに取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
河川・下水道等に流出し、環境汚染を起こさないよう注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

換気の良い場所で取扱う。
容器はその都度密栓する。

安全取扱注意事項

皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らぬよう適切な保護具を着用する。

衛生対策

取扱後は手・顔などをよく洗い、休憩所などに手袋等の汚染保護具を持ち込まないこと。

保管

安全な保管条件

通風の良いところに保管する。
子供の手の届かないところに保管する。

安全な容器包装材料

情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標/許容濃度/濃度基準値

成分名	管理濃度	ACGIH:TWA	IARC	濃度基準値
二酸化ケイ素	-	-	3	-
酸化カルシウム	-	2mg/m ³	-	-
三酸化二鉄(Ⅲ)	-	5mg/m ³	3	-
酸化アルミニウム	-	1mg/m ³	-	-
酸化クロム(Ⅲ)	-	0.5mg/m ³	3	-
酸化マンガン	0.05mg/m ³	0.1mg/m ³	-	-

設備対策

屋内作業の場合は、自動機器等を使用するなど、作業者が直接ばく露されない設備とするか、局所排気装置などにより作業者がばく露から避けられるような設備とすること。

保護具

呼吸用保護具 : その有害性物質に対して適切な保護の出来る保護マスクを着用する。保護マスクを着用する。

眼・顔面の保護具 : 保護メガネを着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

その他の保護 : 静電塗装作業を行う場合には、通電靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態 : 固体 粒状

色 : 黒色

臭い : 無臭

融点/凝固点 : 知見なし

沸点又は初留点 : 知見なし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : 知見なし

引火点 : 知見なし

自然発火点 : 知見なし

分解温度 : 知見なし

pH : 知見なし

動粘性率データなし

溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数 : 知見なし

蒸気圧 : 知見なし

蒸気密度 : 知見なし

密度及び/又は相対密度: 3g/cm³

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性 : 知見なし

10. 安定性及び反応性

反応性

特に情報を有していない。

化学的安定性

特に情報を有していない。

危険有害反応可能性

常温での反応性はない。
 避けるべき条件
 特に情報を有していない。
 混触危険物質
 特に情報を有していない。
 危険有害な分解生成物
 なし。
 その他の危険性情報
 特に情報を有していない。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)

情報なし

急性毒性(経皮)

情報なし

急性毒性(気体)

情報なし

急性毒性(蒸気)

情報なし

急性毒性(粉塵ミスト)

情報なし

皮膚腐食性/刺激性

酸化カルシウム : 区分2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

二酸化ケイ素 : 区分2

酸化カルシウム : 区分1

呼吸器感作性

酸化クロム(Ⅲ) : 区分1

皮膚感作性

酸化クロム(Ⅲ) : 区分1

生殖細胞変異原性

情報なし

発がん性

二酸化ケイ素 : 区分1A

生殖毒性/授乳への影響

情報なし

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

二酸化ケイ素 : 区分3(気道刺激性)

酸化カルシウム : 区分1(呼吸器系)

三酸化二鉄(Ⅲ) : 区分1(呼吸器系)

酸化アルミニウム : 区分3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

二酸化ケイ素 : 区分1(呼吸器系、腎臓、免疫系)

酸化カルシウム : 区分1(呼吸器系)

三酸化二鉄(Ⅲ) : 区分1(呼吸器系)

酸化アルミニウム : 区分1(肺)

酸化クロム(Ⅲ) : 区分1(呼吸器系)

誤えん有害性

情報なし

組成物質に関するその他の有害性情報

特に情報を有していない。

製品に関する有害性情報

製品としての安全性試験は行っていない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)

情報なし

オゾン層有害性

情報なし

生態毒性・魚毒性

情報なし

生態毒性・無脊椎動物毒性

情報なし

生態毒性・藻類毒性

情報なし

残留性・分解性

情報なし

生体蓄積性

情報なし

土壤中の移動性

情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

汚染容器及び包装

使用残、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者といたかく契約して処理をすること。

容器、機械機器等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

14. 輸送上の注意

国連番号 : 情報なし

指針番号 : 情報なし

品名(国連輸送名) : 情報なし

国連分類 : 情報なし

容器等級 : 情報なし

海洋汚染物質 : 非該当

MARPOL 73/78 付属書Ⅱ 及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

: 非該当

国内規制

共通

取扱及び保管上の注意の項の記載に従うこと。容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

陸上輸送

消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められた運送方法に従うこと。

海上輸送

船舶安全法の定めるところに従うこと。

航空輸送

航空法の定めるところに従うこと。

その他

運送に関しては、容器を直射日光にされさないこと。転倒、落下、損傷がないよう注意すること。

15. 適用法令

消防法

非危険物
化学物質把握管理促進法
一種
マンガン及びその化合物 1.5%
クロム及び三価クロム化合物 1.4%
毒物及び劇物取締法
非該当
労働安全衛生法
第57条 表示対象物質
結晶質シリカ
酸化カルシウム
酸化鉄
クロム及びその化合物
マンガン及びその化合物
第57条の2 通知対象物質
結晶質シリカ
酸化カルシウム
酸化鉄
クロム及びその化合物
マンガン及びその無機化合物
第594条の2 がん原性物質
シリカ（結晶質、非晶質を包含した二酸化ケイ素）
第594条の2 皮膚刺激系有害物質
酸化カルシウム
酸化クロム(Ⅲ)
特定化学物質障害予防規則
第二類
マンガン及びその化合物 2.0%
有機溶剤中毒予防規則
非該当
化学物質審査規制法
非該当

16. その他の情報

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱については十分注意してください。
この製品安全データシートは、作成・改訂日までに弊社が入手した情報に基づいて作成しておりますが、記載内容は新しい知見又は法規制の変更により断りなく改訂されることがあります。